

羅針盤



R2. 4. 7 (火)

文責 西 政孝

大切な1年のスタート!

3年生のみなさん、進級おめでとうございます。いよいよ中学校最終学年を迎えました。この1年間は、みなさん一人ひとりにとって、特別で大切な1年になることでしょうか。体育会や合唱コンクールや部活動、生徒会活動など、学校のリーダーとしての1年。今まで一緒に過ごしてきた仲間や先生たちと過ごす最後の1年。そして、自分の進路を考え、決定していく1年です。1・2年生の時にも、進路について様々なことを学んできたと思いますが、みなさんにとって「進路」とは何でしょうか？

すぐに「高校進学」や「受験」といった言葉が思い浮かぶかもしれませんが、そうとは限りません。確かに、現在は中学校卒業後、ほとんどの人が高校へ進学しています。それも1つの進路ですが、それはゴールではなく、人生の通過地点の一つにすぎません。



1年後に中学校を卒業するときの自分だけではなく、5年後、10年後の自分を想像してみてください。みなさんはどんな大人になって、どんな仕事をして、どんな生活をしているのでしょうか。3年生のこの1年間は、自分と向き合い、自分がどんな生き方をしていくのかを自分の意志と責任で選択していく、そんな大切な1年となります。自分の夢や目標を見つけ、その「なりたい自分」の実現に向けてしっかりと頑張っていきましょう。先生たちも応援しています。



第1回進路アンケートについて

本日、第1回目の進路アンケートを配付します。まだまだ自分の将来の夢や希望が分からず書きにくいという人がいるかもしれませんが、現段階での自分の考えで構いませんので、保護者の方ときちんと相談した上で記入してください。進路は自分ひとりだけで決定するものではありません。この1年間、保護者の方や先生たちと話し合いながら自分を理解していき、自分に合った進路先をともに考えていきましょう。また、このアンケートには現在の自分の悩みごとや、家庭学習の状況を記入する欄もありますので、悩みや不安などがあればそれも正直に記入してください。

4月13日(月)の朝9時提出締め切りです。



令和2年度稲築東中学校校内推薦基準

推薦にあたっては、校内推薦判定会議において、厳正、公平に選考し、適切な推薦を行うものとする。

基本姿勢

「高等学校の3年間目標を持ち、努力し続け、卒業することができる。」

- (1) 志願高校(学科)への志願動機、理由が明白、適切であり、学習意欲を有する生徒。
 - (2) 志願高校(学科)が求めている志願資格を満たしている生徒。
 - (3) 志願高校(学科)の教育を受けるのにふさわしい学業成績であり、進学後もその高等学校の教育についていける学力を持っている生徒。
 - (4) 学力のみならず、本校3年間の生活のなかで努力してきた生徒。
 - (5) 生活、行動面で問題がなく、他の範になり得る生徒。
 - (6) これから先の学校生活が円滑に送れる見通しのもてる生徒。
- 以上、6つの条件を満たし、学校長が推薦に値すると判断した生徒。

推薦不合格の場合、県立高校一般入試についても同一高校を受検する意志があるもの。

(ただし、それ相応の事情が生じた場合、この限りではなく校内推薦委員会で確認する。)

推薦合格内定後も、上記の条件を満たしながら学校生活を送るものとする。

(ただし、生活・行動面で問題行動があった場合は推薦を取り消す場合もある。)

(校内推薦の手続き)

1. 最終進路希望調査票(11月配付)において、推薦の希望を伝える。
2. 「推薦入学希望理由書」を書き始める。
3. 推薦を希望する生徒・保護者は、12月に行われる三者懇談会で「推薦」を再確認し、上記の「推薦入学希望理由書」と「推薦入学希望申込書」を提出する。
※期限内に提出のない場合は、推薦希望の資格がない。
4. 校内推薦判定会議にかけ、厳正に審査し決定する。
5. 校内推薦判定会議での結果について、学校長から生徒・保護者に通知する。
6. 校内推薦決定者保護者同伴説明会に出席する。(12月下旬)

保護者の皆様へ

いよいよ進路決定の年となりました。子どもたちはいろいろと悩んだり、不安を抱えたり、ときにはいらいらしたりと大変かもしれませんが、ぜひご家庭でもサポートをお願いします。

三学年職員一同も一丸となり、生徒全員の希望進路実現を目指して一生懸命取り組んでいきます。一年間どうぞよろしくをお願いします。